

福祉心理学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》金澤 潤一郎 (心理学部) (j16-kana@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

福祉心理学は臨床心理学に含まれる領域と福祉・医療・司法などの制度や専門職と関わる領域である。この講義では、福祉心理学に含まれる理論や支援法を概観すると共に、公認心理師が接する福祉・医療・司法の領域での実践についても基礎的な理論や考え方を学ぶ。

【学修目標】

発達障がい臨床での主要な支援方法を学ぶ。
発達障がい臨床の周辺領域（保護者支援や就学準備）について学ぶ。
福祉領域の法律と共に公認心理師としての活動に必要な制度を学ぶ。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床・研究・社会的貢献の成果を反映させた講義内容となっている。